

公益財団法人 日本中毒情報センター 保健師・薬剤師・看護師向け中毒情報

## 有毒な木の実・草の実

### アサガオ(別名:ケンゴシ)(ヒルガオ科) 1)2)3)6)

有毒部位 種子  
有毒成分 樹脂配糖体のファルピチン(pharbitin)  
中毒作用 瀉下作用、大人で0.3g(約7粒)で作用発現  
症状 少量(1~2粒)なら、下痢、腹痛程度  
処置 基本的処置(催吐、活性炭)・対症療法

### アセビ(ツツジ科) 1)2)3)6)7)

有毒部位 全株(とくに葉、花も)  
有毒成分 アセボトキシン(アンドロメドトキシン)、グラヤノトキシン III  
症状 悪心、嘔吐、視覚異常、徐脈、低血圧、全身脱力、  
手足のしびれ、混乱、運動失調、痙攣  
処置 基本的処置(催吐は徐脈を悪化することがあるので行わない、  
胃洗浄・活性炭・塩類下剤投与)・対症療法

### イチイ(イチイ科) 1)2)3)6)7)

学名: *Taxus cuspidata*

有毒部位 全株(種子を含む)が有毒。ただし、果肉には有毒成分を含まない。 11)  
有毒成分 アルカロイドのタキシン(taxine)  
症状 悪心、嘔吐、腹痛、めまい、散瞳。  
大量摂取すると、呼吸抑制、不整脈、痙攣  
処置 基本的処置(催吐は行わない、活性炭・胃洗浄)  
対症療法(とくに呼吸循環管理)

### ウマノスズクサ(別名:ツンボグサ)(ウマノスズクサ科) 1)2)3)6)

有毒部位 全草(とくに根、果実)  
有毒成分 アリストロチン、マグノフリンなどのアルカロイド  
症状 大量に摂取すると、血便や呼吸困難  
処置 基本的処置・対症療法

### ウラシマソウ(サトイモ科)

「シュウ酸塩(不溶性)を含む植物」の項を参照

### エゴノキ(エゴノキ科) 1)2)6)

有毒部位 果皮(著しい苦味がある)  
有毒成分 エゴサポニン(果皮に10%含まれる)  
症状 咽頭・胃粘膜の刺激、溶血  
処置 基本的処置(牛乳・卵白などの投与)・対症療法

### エニシダ(マメ科) 1)2)3)4)6)

有毒部位 全草(とくに葉枝、種子)  
有毒成分 アルカロイドのスパルテイン、サロタミン、ゲニステインなど  
中毒作用 皮膚炎発症、利尿、瀉下、催吐作用(大量で)

症状 スパルテインには強心作用がある  
皮膚炎、悪心、嘔吐、視覚異常、頻脈、低血圧、頭痛  
筋麻痺、痙攣、昏睡  
処置 基本的処置（曝露部位の洗浄、催吐、胃洗浄、  
活性炭・塩類下剤投与）・対症療法（とくに循環管理）

**オシロイバナ(オシロイバナ科) 1)2)6)**

有毒部位 根茎、種子  
有毒成分 アルカロイドのトリゴネリン  
中毒作用 皮膚や粘膜への刺激作用、種子にはとくに幻覚作用がある  
症状 悪心、嘔吐、腹痛、下痢  
処置 基本的処置・対症療法

**オニグルミ(別名:クルミ、オグルミ)(クルミ科) 2)3)6)**

有毒部位 未熟果皮（ただし、堅い殻の中の種子は食用となる）  
有毒成分 アレルギー物質（未熟果皮にはアルファ・ベータヒドロユグロン、ユグロン、タンニン、クエン酸、リンゴ酸を含む）  
症状 皮膚に触れると、かぶれ  
処置 基本的処置（曝露部位の洗浄）・対症療法

**オモト(ユリ科) 1)2)3)6)**

有毒部位 全草（とくに根茎）  
有毒成分 強心配糖体（根茎にはロデイン、葉にはロデキシン A、B、C）、  
ロデアサポニン  
症状 呼吸が激しくなった後、緩慢になって運動麻痺に移り、  
全身痙攣を起こす  
処置 基本的処置（催吐、活性炭・塩類下剤投与）・対症療法

**ギンナン(イチョウ科)**

「ギンナン」の項を参照

**クスノキ(クスノキ科) 1)2)**

有毒部位 全株  
有毒成分 カンフル  
「カンフル」の項を参照

**クンシラン(ラン科)**

「ヒガンバナ科植物」の項を参照

**シキミ(モクレン科)**

「シキミ」の項を参照

**スズラン(ユリ科) 1)2)3)6)7)**

有毒部位 全草（とくに根と根茎）  
有毒成分 強心配糖体のコンバラトキシン、コンバロシド  
中毒作用 強心作用、血液凝固作用  
症状 悪心、嘔吐、視覚異常、脱力感、頭痛、めまい、混乱、

徐脈、血圧低下、心ブロック  
処置 基本的処置（催吐、活性炭・塩類下剤投与）・  
対症療法（血清カリウム値・心電図のモニター）

ソテツ(ソテツ科) 1)2)3)6)8)

有毒部位 全草（種子は大量に食べると有毒）  
有毒成分 配糖体のサイカシン。食べると -グルコシダーゼの作用により  
ホルムアルデヒドを生ずる  
症状 嘔吐、痙攣、嗜眠、昏睡、痙攣  
処置 基本的処置（催吐、活性炭・塩類下剤投与）・対症療法

チョウセンアサガオ(別名:イガナス、キチガイナスビ、マンダラゲ)(ナス科)

1)2)3)5)6)7)

有毒部位 全草（とくに種子、葉）  
有毒成分 種子：アルカロイド約 0.3%（スコポラミン約 0.24%、  
L-ヒヨスチアミン約 0.02%、アトロピン約 0.0025%）、  
葉：アルカロイド約 0.4~0.6%（主に L-ヒヨスチアミンで、  
スコポラミン、アトロピンは少量）  
中毒作用 抗コリン作用  
症状 末梢：口渇、散瞳、頻脈、皮膚の熱感・乾燥・紅潮、  
過高体温、尿閉、消化管運動の抑制。  
中枢：錯乱、失見当識、幻覚、痙攣、昏睡、運動失調、  
呼吸不全、循環虚脱  
処置 基本的処置（催吐、胃洗浄、活性炭・塩類下剤の投与）・  
対症療法（末梢症状には塩化ベタネコール・ネオスチグミンな  
どのコリン作動薬、中枢症状にはフィゾスチグミンを使用）

ツゲ(ツゲ科) 1)2)4)

有毒部位 全株、とくに葉、樹皮  
有毒成分 アルカロイドのブキシン。正確な毒性は確立されていない  
症状 動物では消化器症状、重篤な胃腸炎、嘔吐、下痢（ときに下血）、  
痙攣、呼吸不全を起こして短時間のうちに死亡することもある。  
ヒトの中毒例は報告されていない  
処置 基本的処置・対症療法

ツクバネソウ(ユリ科) 2)6)

有毒部位 全草  
有毒成分 配糖体  
症状 悪心、下痢、頭痛、重症例では縮瞳、呼吸麻痺  
処置 基本的処置・対症療法

トウゴマ(トウダイグサ科) 1)2)3)6)9)

有毒部位 種子、葉  
有毒成分 アルカロイドのリシニン、リシン、脂肪油（ヒマシ油）、  
アレルギー性の糖蛋白  
中毒作用 強い粘膜刺激作用による瀉下作用、皮膚炎発症  
症状 嘔吐、下痢、腹痛、脱水、皮膚炎、アナフィラキシー。

処置 重症例では消化管出血、溶血、低血糖症、肝・腎機能異常など  
基本的処置（胃洗浄・活性炭投与、下剤は投与しない）・  
対症療法（とくに十分な輸液、無症状でも種子をかんで食べた  
場合は4～6時間の経過観察が必要）、強制利尿、血液透析は無効

**ドクウツギ(ドクウツギ科)** 1)2)3)6)7)

有毒部位 種子（実は甘い）、枝葉全体  
有毒成分 コリアミルチン、ツチン、コリアリン  
中毒作用 中枢神経抑制性伝達遮断作用  
症状 悪心、嘔吐、口唇しびれ感、強直性痙攣、意識消失、発汗  
処置 基本的処置（開口障害のために催吐や胃洗浄は困難）  
対症療法（とくに抗痙攣薬、気道確保、人工呼吸）

**ドングリ(アラカシ、ウラジログシ、シラカシ、イチイガシ、マテバシイ、  
スダジイ、コナラ、ミズナラ、クヌギなどブナ科植物の実の総称)**

1)2)8)

有毒部位 実  
有毒成分 タンニン、quercitrin、quercitin。シイ類のドングリはタンニン含  
有率が低く、あく抜きをせずに火にあぶるだけで生食できる  
中毒作用 消化管刺激作用  
症状 腹痛、便秘、口渇、頻尿。重症例では血性下痢、頻脈、肝・腎障害  
処置 種類によるが、小児が1、2個食べる程度では異常のないことが  
が多いので経過観察。大量に食べた場合、基本的処置・対症療法

**トチノキ(トチノキ科)** 2)3)6)

有毒部位 種子（ただし、あくを抜いて食用とする）  
有毒成分 種子にはサポニン、樹皮には収れん作用のあるカテコール、  
タンニン、クマリン配糖体のフラキシンを含む  
中毒作用 サポニンによる消化管刺激作用  
症状 下痢  
処置 基本的処置・対症療法

**ナンテン(メギ科)** 2)3)6)8)

有毒部位 実、葉  
有毒成分 実：アルカロイドのドメスチン（ナンテニン）  
葉：アルカロイドのナンジニン  
症状 大量では、ドメスチンは知覚、運動神経の麻痺、ナンジニンは  
大脳、呼吸中枢の興奮、後に麻痺を起こす  
処置 基本的処置・対症療法

**ニシキギ(ニシキギ科)** 2)6)

有毒部位 種子  
有毒成分 脂肪油  
症状 悪心、嘔吐、下痢  
処置 基本的処置・対症療法

**ヒョウタンボク(別名:キンギンボク)(スイカズラ科)** 2)5)6)

有毒部位 実  
有毒成分 不明  
症状 不明  
処置 基本的処置・対症療法

**ヒヨドリジョウゴ(ナス科) 1)2)6)7)**

有毒部位 全草(とくに果実)  
有毒成分 ソラニン、アトロピン  
症状 嘔吐、下痢、腹痛、頭痛、徐脈、中枢抑制、呼吸困難、  
体温上昇、散瞳、興奮  
処置 基本的処置(催吐、胃洗浄、活性炭/塩類下剤投与)  
対症療法、「じゃがいもの芽(ソラニン)」の項を参照

**ヒラギモチ(別名:セイヨウヒイラギ)(モチノキ科) 1)2)5)**

有毒部位 実(葉はほとんど無毒)  
有毒成分 サポニン  
症状 嘔吐、腹痛、下痢。実2、3個摂取でも症状が出現する  
処置 基本的処置(2、3個程度の摂取では胃洗浄の必要はない)  
対症療法

**ヘクソカズラ(別名:ヤイトバナ)(アカネ科) 2)3)4)6)**

有毒部位 全体に悪臭があり、全草有毒とされている  
有毒成分 臭味のインドール、一種の脂肪酸、アルデヒド体、アルブチン  
症状 動物実験で下痢・血尿(犬)、間代性痙攣、呼吸困難  
処置 基本的処置(曝露部位の洗浄)・対症療法

**ホオズキ、イヌホオズキ、ハダカホオズキ(ナス科) 1)2)4)7)**

有毒成分 ソラニン、アトロピン  
症状 嘔吐、下痢、腹痛、頭痛、徐脈、中枢抑制、呼吸困難、体温上昇、散瞳、興奮  
処置 基本的処置(催吐、胃洗浄、活性炭・塩類下剤投与)、対症療法。「じゃがいもの  
芽(ソラニン)」の項を参照

ホオズキ(ナス科 ホオズキ属)

学名: *Physalis alkekengi* var. *francheti*

有毒部位 未熟な実(熟すると食用になる)、葉

イヌホオズキ(ナス科 ナス属)

学名: *Solanum nigrum*

有毒部位 全草 12)

ハダカホオズキ(ナス科 ハダカホオズキ属)

学名: *Tubocapsicum anomalum*

有毒部位 該当資料なし

参考 他に複数のホオズキ類が存在し、その多くはソラニンを含有する。また、すべての *Physalis* 種は毒性を有すると考えられる。 12)

**マムシグサ(テンナンショウ)(サトイモ科)**

「シュウ酸塩(不溶性)を含む植物」の項を参照

**マユミ(ニシキギ科) 2)6)**

有毒部位 果実  
有毒成分 種子の脂肪油  
症状 悪心、腹痛、下痢、大量では運動麻痺  
処置 基本的処置・対症療法

#### ミツマタ(ジンチョウゲ科) 2)6)

有毒部位 全株(とくに果実)  
有毒成分 刺激性成分  
症状 口内・胃の炎症、大量摂取すると体が麻痺する、皮膚のかぶれ  
処置 基本的処置(曝露部位の洗浄)・対症療法

#### ミヤマシキミ(ミカン科) 2)3)4)

有毒部位 全草(葉、樹皮、木、実)  
有毒成分 葉にはアルカロイドのシキミアミン、シキミン、果実の成分は不明  
症状 動物実験では主に痙攣が起こり、静注により心筋麻痺、血圧降下を生ずる  
処置 基本的処置・対症療法

#### ヨウシュヤマゴボウ(ヤマゴボウ科) 1)2)3)5)10)

有毒部位 全草(とくに根、実)  
有毒成分 トリテルペノイドサポニンのフィトラッカ、硝酸カリウム  
症状 口腔刺激、悪心、嘔吐、下痢、頭痛、蕁麻疹。重症例では頻脈、血圧低下、呼吸抑制、痙攣、昏睡などもみられることがある  
処置 基本的処置(曝露部位の洗浄、嘔吐、下痢がある場合は催吐、下剤投与は行わない)・対症療法

## 1. 参考文献

- 1) Poisindex (1992)
- 2) 牧野新日本植物図鑑(1985)
- 3) 薬草カラー図鑑(続、続々)(1978、1980、1984)
- 4) 家畜有毒植物学(1970)
- 5) A COLOUR ATLAS OF POISONOUS PLANTS (1984)
- 6) 身近にある毒草 100 種の見分け方(1989)
- 7) 中毒百科(1991)
- 8) 山崎幹夫: 食の科学 158、24~28、1991
- 9) Katheyn, R.C.et al.: Ann Emerg Med 19(10) 1177~1183、1990
- 10) 和漢薬物学(1982)
- 11) *Taxus cuspidata* (Botanic name). In: POISINDEX® System (electronic version). Truven Health Analytics, Greenwood Village, Colorado, USA. Available at: <http://www.micromedexsolutions.com/> (cited: 06/11/2013).
- 12) *Physalis alkekengi* (Botanic name)/ *Solanum nigrum* (Botanic name). In: POISINDEX® System (electronic version). Truven Health Analytics, Greenwood Village, Colorado, USA. Available at: <http://www.micromedexsolutions.com/> (cited: 2015-01-09).

## 2. 作成日

19900215 Ver.1.00 新規作成

20150109 Ver.1.02 部分改訂

ID M70284\_0102\_2